backlog by nulab

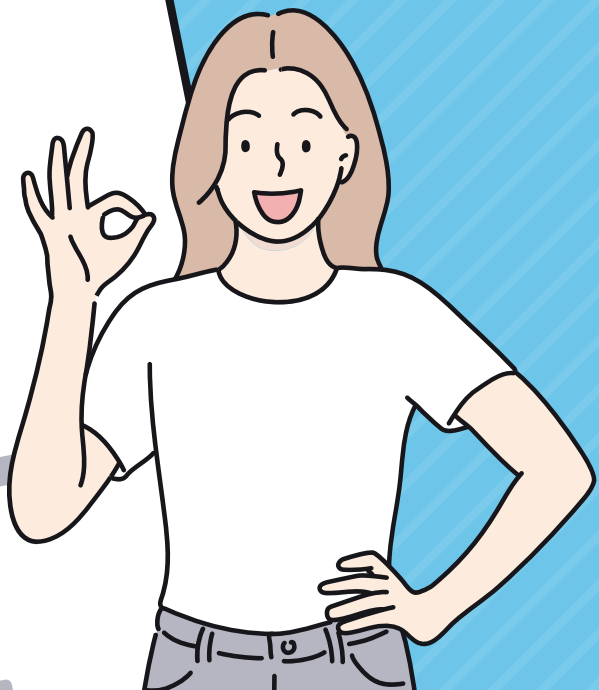
言った言わない

をなくす

プロジェクト・タスク管理術







多くのプロジェクト現場の声に耳を傾けると、
下記のような課題が共通して見えてきました

お悩み

**重要な指示が口頭やチャットで流れてしまい、
「言った言わない」のトラブルに発展**



情報共有や指示は口頭のみ。
言った言わないは通常。

お悩み

**証跡が残らないため、
後からの事実確認や共有が困難になっている**

その場ではOKで進んでいる業務が、
あとになって上司から『ここはもっと
こうだよ？』ということがしばしば。



指示や合意が形に残らない「口頭中心のやり取り」が
業務の非効率化に繋がっている

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

なぜ「言った言わない」が発生してしまうのか？
ー 口頭共有の限界と「証跡なきコミュニケーション」の壁 ー

「言った言わない」が発生する原因は、指示や決定事項が残らず、「口頭や流れるやり取りのみ」で完結していることにあります。

現状

記録が残らない会話



問題点

証跡が見えないことによる業務の停滞

- 誰が何を約束したか（証跡）が見えない
- 「何を言ったか」の確認作業が本来の業務を圧迫
- 最終決定に至った理由や経緯が見えない

セルフチェック

- 過去の決定事項を振り返る際、個人の「記憶」だけが頼りになっている
- 事実確認をするために、過去の流れてしまったやり取りを探す時間に追われている
- 情報共有や指示が口頭ベースになっており、それがチームの「通常」になっている

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

「言った言わない」をなくす、タスクマネジメント3つの仕組み

流れてしまうやり取りをなくし、すべての決定事項と経緯が「確実な証跡」としてオープンに蓄積される仕組みを構築する

決定事項の完全可視化



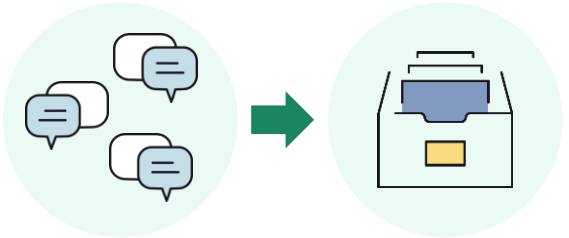
担当や期限を明確に記録する。
個人の「記憶」に頼らず、チーム全員が
いつでも確認できる状態を作る

議論の内容と変更履歴の蓄積



「なぜその結論になったのか」という
背景や経緯をタスクに紐づけて残し、
振り返れるようにする

蓄積された経緯の簡単集約



過去のやり取りや決定にいたる経緯を、
誰もが確認できるように整理・集約する
運用方法を構築する

次のページから、**Backlogを活用した解決のヒント**をご紹介します！

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

「Backlog」とは？

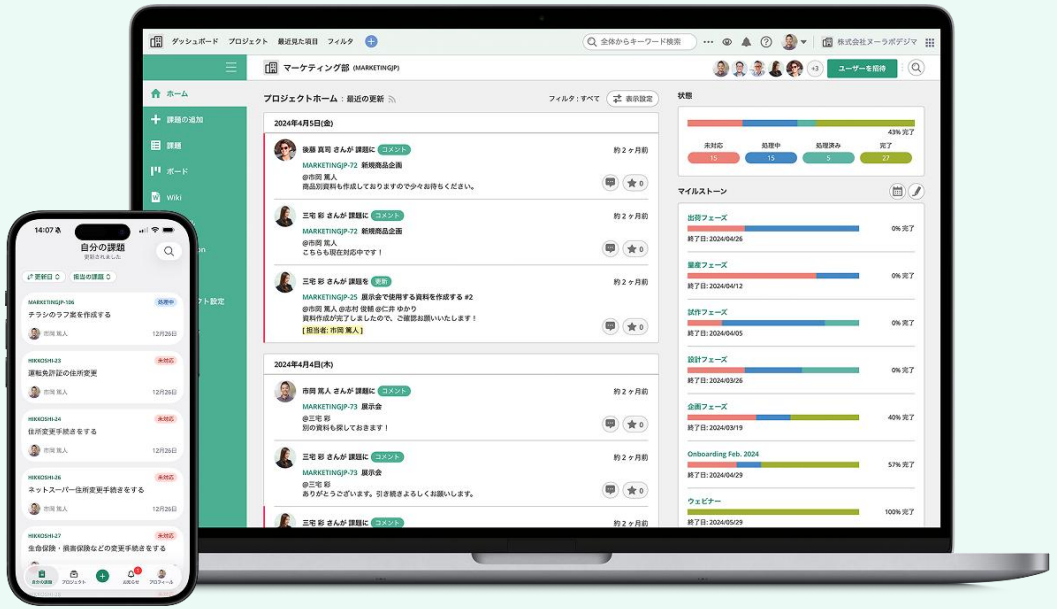
チームのタスクを可視化しコミュニケーションを促進する、
プロジェクト・タスク管理ツールです。

Backlogの特長

シンプルな操作性
直感的なインターフェースで誰でも簡単に使いこなせます

親しみやすいUI
使いやすさを重視した“仕事が楽しくなる”デザイン

チームで働くすべての人に
チーム全体の業務やタスクを可視化し、情報を一元管理できる多彩な機能



backlog by nulab

主な用途

- プロジェクト管理
- タスク管理
- バージョン管理
- ナレッジ共有

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

解決策 1　プロジェクト・タスク情報の記録と共有

使用する機能：「課題」「ガントチャート」



- 担当者をはじめ、期限、タスク内容を「課題」として明確に登録できます。
- 「課題」を登録すると、自動的に「ガントチャート」が生成され、メンバーのタスク状況が一目でわかるようになります

担当や期限などの決定事項を「課題」として登録し、
それをガントチャートで誰でもわかりやすく確認できる状態で共有できます。



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

解決策 2　コメント機能でやりとりを可視化・蓄積

使用する機能：「コメント」



- Backlog内でタスクに紐づく形で
  可視化できます
- 「なぜこの進め方になったのか？」といった
  経緯を残すことができます
- タスクの変更履歴も残るため、
  いつ・誰が・何をしたのか一目でわかります

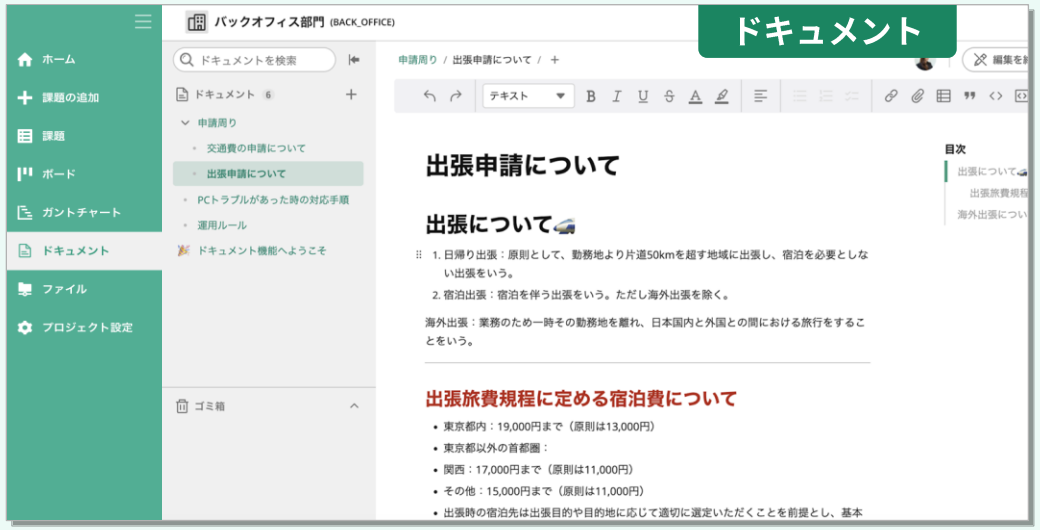
タスクに関するやり取りを振り返れる状態で記録・蓄積することで、
「言った言わない」を減らします。



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

解決策 3　議事録の作成と共有

使用する機能：「ドキュメント」



- **業務フローやレギュレーションBacklogのドキュメントに議事録として集約すれば、誰でも確認できる状態で情報を共有できます**
- **ドキュメントは複数人で同時に編集できるため、会議の議事録や業務メモをその場で共有・更新できます**

役割やフロー、レギュレーションなどの決定事項を
Backlogのドキュメントに議事録として記録しておくことで、誰でも確認がしやすくなります。



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

解決策 4　AI活用で簡単に状況確認

使用する機能：「Backlog AIアシスタント」



Backlog AIアシスタントに質問すると、
Backlogに蓄積された情報から
必要なものを整理・要約して提示します

プロンプト例

- このプロジェクトの進捗をまとめて
- コメント内から、最終決定事項と理由を抽出して
- この課題のコメントを要約して

Backlogに蓄積された情報を、AIが資産として活用できるようになります。
メンバーのプロジェクト・タスク状況の把握はもちろん、過去の実績から必要な情報を
簡単に収集できるため、「言った言わない」を素早く確認できます。



© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

Backlogのご案内



まずは
体験してみませんか？

30日間無料で試す



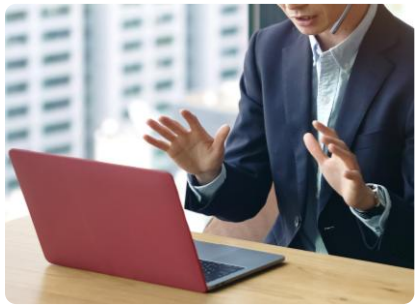
Backlogがわかる！
資料3点セット公開中

ダウンロードする



オンラインセミナー
開催中

セミナーに申し込む



オンライン個別相談も
可能です

個別相談を予約する

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.

会社概要

社名	株式会社ヌーラボ
設立	2004 年 3 月
事業内容	チームのコラボレーションを促進するサービスの開発・提供 ● プロジェクト・タスク管理ツール「Backlog」 ● オンラインホワイトボードツール「Cacoo」 ● 組織の情報セキュリティ・ガバナンスを強化するツール「Nulab Pass」 ● ワークフロー自動化ツール「Nulab Flowbase」
本社	福岡県福岡市中央区天神一丁目11番1号

© 2026 Nulab Inc. All rights reserved.